

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	合唱
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんざいだんほうじんがっしょうおんがくしんこうかい 一般財団法人合唱音楽振興会		
代表者職・氏名	代表理事 堤 剛		
制作団体所在地	〒 169-0051		
	東京都新宿区西早稲田2-3-18		
電話番号	03-3200-9755	FAX番号	03-3200-9882
ふりがな 公演団体名	とうきょうこんせいがっしょうだん 東京混声合唱団		
代表者職・氏名	理事長 山田和樹		
公演団体所在地	〒 169-0051		
	東京都新宿区西早稲田2-3-18		
制作団体 設立年月	1981年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:堤 剛/理 事:池辺晋一郎・小林信一・田中信昭・藤本草・城満志 評議員:浅野紀子・佐々木亮・山田茂/監事:曾根研一	賛助・支持会員 200名	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	安藤 博
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	秋島光一

制作団体沿革	一般財団法人合唱音楽振興会 1981年4月 東京混声合唱団(1956年設立)を中心として、我が国の職業合唱団ならびに合唱音楽の一層の振興のため、関係民間会社や東京混声合唱団メンバーの拠出金により、財団法人として設立。 2012年一般財団法人に移行。 合唱音楽を主体とする音楽芸術の創造・普及を図ると共に、芸術文化の発展に寄与すべく各種事業を行っている。 【主な事業目的】 ・合唱音楽の公演開催 ・青少年に対する音楽普及啓蒙活動 ・合唱作品の作曲委嘱 ・その他			
学校等における公演実績	過去4年間実績の一部(文化庁公演を除く) 2020年度 桐朋学園高等学校音楽鑑賞会(10月14日)／開智中学校音楽鑑賞会(11月27日) 2019年度 新潟市音楽鑑賞会(5月27日～31日、6月24日～28日、7月1日、2日)／日の出町立平井中学校音楽鑑賞会(10月23日)／豊島区立西巣鴨中学校鑑賞教室(10月26日)／南山学園中学校芸術鑑賞公演(10月19日)／伊丹市中学校音楽鑑賞会(12月2日～5日)他 2018年度 宇都宮市内高等学校芸術鑑賞公演(6月12日)／岐阜県飛騨市青少年のための芸術体験教室(10月16日16日～18日)／前橋市立鎌倉中学校芸術鑑賞公演(10月18日)他 2017年度 桐蔭学園芸術鑑賞会(5月9日)／所沢市立小手指小学校芸術鑑賞教室(6月16日)／山形市小学校音楽鑑賞教室(7月4日～7日)／宇都宮女子高等学校芸術鑑賞会(7月19日)／足立区立綾瀬小学校芸術鑑賞会(10月11日)他			
特別支援学校における公演実績	京都府立丹波支援学校(30年11月) 山形養護学校(29年7月) 山形聾学校(29年7月) 長野県須坂市支援学校(28年6月) 新潟盲学校(28年6月) 新潟大学附属特別支援学校(28年5月) 新潟県立東新潟特別支援学校(218年5月) 以上の他、多数公演歴あり			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	無	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/6Z9KjH4jmVg	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	設定していない
PW:	設定していない			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京混声合唱団】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生	
	○	小学生(中学年)			
	○	小学生(高学年)			
企画名	心に響く合唱～子供たちに残したい日本の歌、世界の歌				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【小学校】 ■校歌演奏 ■第1部 日本の歌 待ちぼうけ(作曲:山田耕筰)／せんせい(作曲:三善晃)／里の秋(作曲:海沼貫) ■第2部 世界の合唱曲より 夏は来たりぬ(14世紀のカノン)／ハレルヤ(作曲:G.F.ヘンデル)／フニクリ、フニクラ(作曲:L.デンツァ) ■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲－シアターピース 萬歳流し(作曲:柴田南雄) ■第4部 みんなで歌おう ①歌う前にみんなでウォームアップ ②校歌全員合唱 ③ABCより選択 A.各校選択曲 B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代) C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」 ■第5部 みんなのコーラス となのりのトロ(作曲:久石譲)／幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)／ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(作曲:A.リュエーベル) 翼をください(作曲:村井国彦) 【中学校】 ■校歌演奏 ■第1部 世界の合唱曲より 「カルミナ・ブラーナ」より～おお運命の女神よ(作曲:K.オルフ)／トリッチ・トラッチ・ポリカ(作曲:J.シュトラウス2世) コンタリタ(滝の精) (作曲:S.リーク) ■第2部 日本のうた 群青(作曲:小田美樹 編曲:信長貴富)／「親子で歌い継ごう日本の歌百選」より`さくらさくら(日本古謡・編曲:名田綾子)、夕焼小焼(作曲:草川信・編曲:三善晃) ■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲－シアターピース 萬歳流し(作曲:柴田南雄) ■第4部 みんなでコーラス ①校歌全員合唱 ②ABCより選択 A.各校選択曲 B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代) C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」 ■第5部 楽しいコーラス 手紙 拝啓十五の君へ(作曲:アンジェラ・アキ)／風になりたい(作曲:宮沢和史)／Joyful,Joyful(作曲:L.v.ベートーヴェン 映画「天使にラブソング」より)				
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	・冒頭に公演校の校歌模範演奏を行う。 ・小学校、中学校とも、5部構成のプログラムとし、古典から現代までの世界の合唱曲、世代を超えて歌い継がれている「日本の歌百選」、日本の伝統芸能を素材としたシアターピースなど、創立以来65年の歴史をもつ東京混声合唱団の豊富なレパートリーから厳選された、すべて子供たちに残したい名作で構成されている。 ・第4部の「みんなで歌おう」(中学は「みんなでコーラス」)では、各校の校歌および、学校で選んでいただいた曲を児童・生徒といっしょに合唱する。ここで歌われる曲はワークショップで事前指導され、児童・生徒にとっては、その成果が披露される場となる。				
演目選択理由	すべての音楽の原点である合唱、明治以来歌唱教育は学校教育現場においてもっとも重視されてきた。その流れは現代においても全国の多くの学校で学内合唱コンクールが盛んに行われているとおり脈々と受け継がれている。また「歌」は器楽のように特別な訓練がなくても皆が平等に楽しめる音楽でもある。そうした観点から次のような理由により演目を選択した。 1) 世界の合唱曲より、子供のときから知っておくべき名曲(ハレルヤetc.) 2) 世代間を超えて歌い継がれるべき唱歌の名作(待ちぼうけ、里の秋etc.) 3) 日本の伝統音楽に由来する作品(萬歳流し) 4) みんなで歌おうコーナーの曲はもとより、全員が参加できる曲(幸せなら手をたたこう) 5) 中学校プログラムに含めた「群青」は、東日本大震災で被災した福島県南相馬郡小高中学校の2012年卒業生たちによる詩、音楽教諭小田美樹によって作曲された曲。10年後の今、同世代となった中学生たちには是非と心に刻み歌い継いでもらいたいという願いをこめて選曲した。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	以下の1)～4)はワークショップで事前指導し、本公演で全員が参加共演する。また2)～4)はいずれかを学校で選択していただく。 1) 校歌全員合唱 2) 学校自由選択曲 各校の愛唱歌、文化祭などで取り上げる曲などを自由に選択していただき、合唱団と共に全員合唱する。 3) ラララのラー 鶴見幸代作曲による自然界の水の巡回についてリズムと身体表現で完成する作品 4) ミュージカルメドレー「サウンド・オブ・ミュージック」森田花央里編曲 私のお気に入り、エーデルワイス、ドレミの歌をメドレー形式で歌う作品で子供たちが歌うメロディーを支えるように合唱団が歌い完成する作品。簡単な身体動きを伴う 以上の2作品は、東混が学校公演のために委嘱したオリジナル作品。子供たちが大人と一緒に声を出して身体でリズムをとっているうちに自然に曲が完成してしまうという誰でも取り組める作品である。 5) 校歌と学校自由選択では、生徒の伴奏参加も可。その場合は、ワークショップで事前指導も行う。 以上の他、小学校プログラムに含まれる「幸せなら手をたたこう」も児童が楽しく参加できる曲。				
出演者	指揮:キハラ良尚／水戸博之／平川範幸 ピアノ:魚谷絵奈／若月直子 合唱:東京混声合唱団				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 33 名 スタッフ: 名 合 計: 33 名		機材等 運搬方法	積載量: t 車 長: m 台 数: 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目 安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		0.5	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	10時	10時30分～12時	13時30分～15時	10分	15時30分～ 16時	16時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		制限なし			
	本公演		制限なし			
ワークショップ 実施形態及び内容	・ソプラノ、アルト、テノール、バス各1名とピアニスト計5名で実施。 ・合唱の成り立ちを学ぶため、まず各自が1曲ずつ歌うことにより各声域の声の特徴を知ってもらい、全員の演奏により声域が混ざり合った時の響きを体感してもらう。 ・本公演の際に共演する曲(校歌と学校選択曲)について、全員合唱の形で指導する。 ・指導に際して、緊張感をやわらげ声を出しやすくする目的で、事前に簡単なボディーパーカッション(ドレミの歌による)を指導する。					
ワークショップ 実施形態の意図	・全体として「指導」だけでなく、一部コンサートも織り交ぜながら合唱の美しさ、楽しさを体感できるよう指導する。 ・ボディーパーカッションを取り入れながら、子供たちが自然に楽しく参加できるよう工夫する。 ・校歌と共演曲では、歌詞とメロディーの関係などをわかりやすく分析して指導する。 ・以上を通じて、幅広い表現方法の他、声と身体の関係、良い声を出すための姿勢、また伴奏の役割なども含め、合唱音楽について興味を膨らませ、本公演がさらに実り多い効果があげられるよう指導を行う。					
特別支援学校での 実施における工夫点	・児童生徒の発達や障害の状態について、当該校と事前に情報を共有する。 ・その状況に合わせて指導内容を工夫、円滑な実施に努める。 ・手拍子など、リズムの要素も積極的に取り入れる。 ・合唱の響きの美しさを身近に体験してもらえよう、児童生徒の障害の重度にも応じたプログラムとし、歌を通じて楽しい交流が深められるよう演出にも配慮する。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A1	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	東京混声合唱団				制作団体名	一般財団法人 合唱音楽振興会			

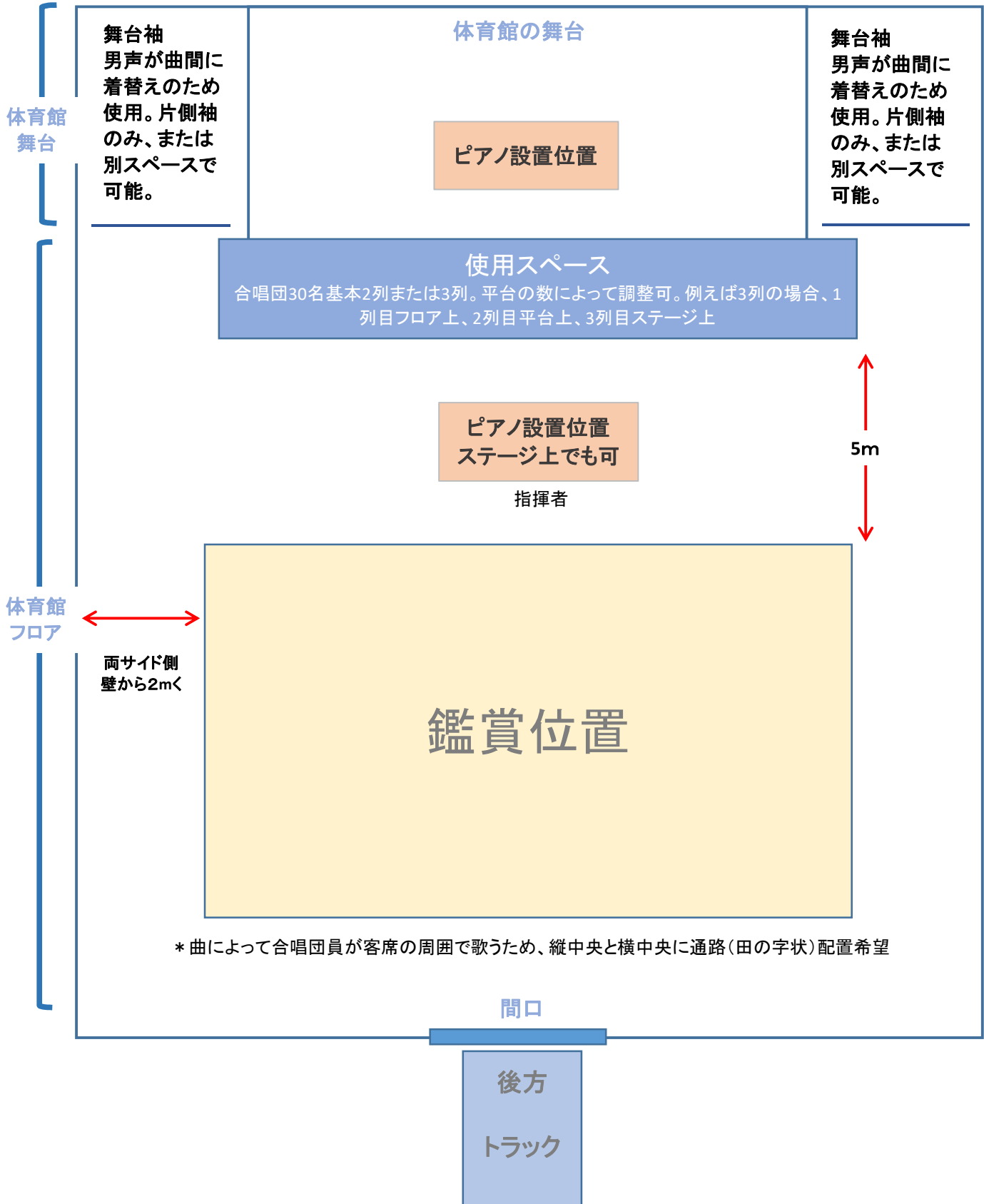
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	3室	条件		男声用(約15名)1室、女声用(約15名)1室、指揮者用1室(可能ならば)。着替も行うので、カーテンなど目張り要			可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			大型バス	1台			—
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			機材などはないので搬入車両は使用しない。				
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			搬入車両は使用しない				
	搬入車両の横づけの要否 *			不要				—
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				—
	搬入経路の最低条件							—
	理由							
	設置階の制限 *			問わない				
	搬入間口について 単位:メートル		幅	搬入物なし		高さ		—
WSIについて	参加可能人数		指定なし					—
	学年の指定の有無 *		指定学年 *	小学生(低学年~高学年)		中学生(全学年)		可
	所要時間の目安 単位:分		90分程度					可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		10時到着、10時30分~12時リハーサル、1時30分~3時本公演					
	鑑賞可能人数		制限なし					
	舞台設置場所 *		ステージ上・フロアの両方					可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	制限なし	奥行	制限なし	高さ	制限なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要			—
		舞台袖スペースの条件 *						—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由				—
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	ステージ上でもフロア上でも使用可能			—
		ピアノの事前調律 *		不要(ただし、状態が極度に悪い場合は要)			可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		児童・生徒の鑑賞に妨げなければ特に問題なし			—	
	公演に必要な電源容量		指定なし	特殊機材なし			—	
	その他特記事項							応相談
	鑑賞スペース・児童数に合わせて、フロアに平台など並べて仮設ステージとすることも可能。							可
例えば合唱団を3列とし、1列目フロア上、2列目平台の上、3列目ステージ上に並ぶなど。							可	
ピアノはステージ上でもフロア上でも可。							可	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	搬入物なし	高さ	—
搬入車両の横づけの可否		—		
横づけができない場合の搬入可能距離		—		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



* 曲によって合唱団員が客席の周囲で歌うため、縦中央と横中央に通路(田の字状)配置希望